

川上社長のコラム

ゴールデンウィークは故郷に帰ることを躊躇した方、また遠方からのご家族の帰省を遠慮された方など、それぞれが居心地の悪い休日を過ごしたのではないかと気を揉んでいました。皆さん各々気を付けているでしょうが、感染者数は中々減少しませんね。とうとう3度目の緊急事態宣言となりました。

これから昨年につきコロナ禍の梅雨を迎えますが、マスクを付けての作業は本当に大変だと想像しています。

そこで会社では制服を通気性が良く、速乾性スポーツタイプの生地にしたものに取り換えております。既に皆さんの元へ届いていると思いますが、従来のものの汗を吸うと重たくなっていたところは改善され、少し楽に、少し見た目も良くなっていると思いますので、上手に使って熱中症予防を図ってください。

(今まで使用してきた緑のポロシャツは、令和4年3月末までの併用とします。)

ついでですが、担当車両の見た目にも気をつけて下さいね。フロントガラス辺りに色々と物が置いてあると、玄関の靴が揃っていないような感じで、見た目に恰好の良いものではありませんし、視界も悪くなってしまいますので宜しくお願いします。

さて、コロナとは別に当社の緊急事態といえ、近頃、点呼時にアルコールが検出される方が見られます。お酒を飲まない方でも強い刺激性の飲み物に反応する場合がありますので注意して下さい。またお酒を飲む場合は、これから暑くなってくると加齢と共に体力が落ちアルコールを分解する力も落ちますので、飲むならチェックして、いつもの運転が出来る状態で出勤して下さい。

因みに飲酒運転による事故は減っていないようですが、去年の交通事故全体の事故死者数は2,839人、と昨年に比べ376人減っています。そのうちトラック（営業車）だけに限ると231名の方が亡くなってはいますが、こちらも昨年より40人減っていました。

また新型コロナの影響で交通量が減った事が関係していると思われそうですが、貸切バスの事故死者数は、0名（前年度より9名減）と亡くなった方がいなかったようです。

貸切バスは殆ど走れなかったようですね。

最後に荷物の動きですが、家にいる時間が長くなったことで宅配とホームセンター関連の荷物は増加しています。しかし製造業では思うように工場を稼働出来ていない様子で、工業地帯から都市への荷物は減少しており、小さい荷物が多く、必要とされるトラックの台数は減少傾向にあります。

少なからず当社でも、今期4月までで自社のトラックで走った売上は昨年度比4.2%減と影響は出ていますが、特定のお客様に売上げが集中しているわけではなく、影響が分散緩和されており、コロナ禍の中では順調に推移しています。

このような誰が悪いわけでもない状況の中、溜まっていくストレスの発散先として、言い返せない相手を選び、攻撃して鬱憤を晴らす人がいるようですので、運転中はいつもより「イライラしている方が多い」との心構えをもって、早めのウインカーやブレーキを心掛けいつもより少し「車間と心」を広く取るようお願いします。